



# CS・SDGsパートナーズ通信

## IKEA新三郷様の取組を紹介します

IKEA新三郷様は、「より快適な毎日を、より多くの方々に」をビジョンとするスウェーデン発祥のホームファニッシングカンパニー イケアの店舗です。本市でもSDGsの普及のため、市立学校へのお出前講座にご協力いただいております。また、埼玉子ども食堂ネットワークを通じて食材の寄付を行っていただいております。今回はその取組の一部を紹介します。



IKEA新三郷

### サーキュラーマーケットでのリユース活動



店舗内のサーキュラーマーケットでは、展示品やお客様から買取した家具をアウトレット価格で販売しています。配送中にパッケージにキズがついてしまった商品は店舗内のリパックマシンで再梱包しています。

また、ネジ・部品コーナーでは、スペアパーツ（ナット、ボルト、ネジなど）を継続的に無料で提供して、イケアの商品の寿命を延ばせるようにしています。



ネジ・部品コーナーには家具の説明書が置いてあり、必要な部品の番号を調べることができる。

### サステナブルな取組の案内～グリーンサイン～



サステナブルに関連する事項を店舗内の緑色のパネルで案内しています。

店舗入口には、屋上に設置された1080枚の太陽光パネルの発電状況などが紹介されています。

2階ショールームのサステナブルコーナーでは、充電式電池やLED電球、お弁当箱としてそのまま使える保存容器など、日常で使用できる手頃な商品を提案しています。



ラッピングテーブルに置いてある「緩衝材」は、店舗で発生した不要な段ボールを店舗内で作り替えたものです。インターネット販売商品の梱包にも活用しています。

IKEA新三郷ではジェンダーや国籍に関わらず働ける環境づくりをしており、一般的に男性が多いとされる配送担当者の男女比は1対1です。また、約330名のコワーカー（従業員）の国籍は10か国に及びます。



不要な段ボールを緩衝材に作り替える機械。

### 担当の方からひとこと

サステナブル月間の6月は、「人にも地球にもやさしく」をテーマにしたお客さま向けのストアツアーを実施します。IKEA新三郷が実践するサステナビリティの幅広い取組を実際にご覧いただけます。

【IKEA新三郷 ローカルマーケティング担当 浅沼】